

大会特集号

江東支部



墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL (3640) 2411
発行者 塩出和史
定価 30円
新聞代は組合費に含まれています

増勢への転換まで「もう一步」

団結してガンバロウ!!

第58回支部定期大会



大会方針に団結し運動をすすめるよう「がんばろう三唱」する代議員

第五八回江東支部定期大会は四月七日(日)錦糸町駅前墨田区すみだ産業会館にて、支部役員・代議員・特別代議員・来賓あわせて百四十七人が参加し開催しました。大会は、昨年の運動の総括・新年度運動方針案・支部財政の予算・決算などを報告・提案、午後六つ十分科会に分かれ活発な議論がおこなわれ、大会決議・大会スローガンの提案・議案採決、役員改選がおこなわれました。

大会は、大和田副委員長が開いた。長が開いた半ばで倒れた物。長は、大和田副委員長より開会、大故者に対し献辞を捧げた。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。

希望のもてる建設産業の構築、消費税増税阻止、土建国保を守り社会保障の拡充、憲法改正を許さず、脱原発実現で安心・安全な日本を目指し、組織増勢・強化に全力で取り組もう!

第五八回江東支部定期大会は四月七日(日)錦糸町駅前墨田区すみだ産業会館にて、支部役員・代議員・特別代議員・来賓あわせて百四十七人が参加し開催しました。大会は、昨年の運動の総括・新年度運動方針案・支部財政の予算・決算などを報告・提案、午後六つ十分科会に分かれ活発な議論がおこなわれ、大会決議・大会スローガンの提案・議案採決、役員改選がおこなわれました。

大会は、大和田副委員長が開いた。長が開いた半ばで倒れた物。長は、大和田副委員長より開会、大故者に対し献辞を捧げた。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。大和田副委員長は、現場で働く仲間を応援する。

具体的には「社会保険未加入問題では、こよもも早く対策をすすめる、建設産業構造の矛盾を明らかにしながら事業所との距離を縮め組織化を展開した。消費増税阻止・土建国保補助金獲得・アースベスト訴訟での国の責任追及・年間拡大目標達成など前進はあるが、脱退者の増加などもあり、増勢の転換が『もう一步』のころまで来ている。新たな役員のもとで支部・分会・群が方針に団結し、要求実現と組織建設・強化の為に奮闘しよう」と強調しました。

この後、決算報告・会計監査報告、予算案提案がされました。

午後からは六つの会場「三唱し閉幕しました。



大会あいさつをする金谷委員長

仲間の命と暮らしを守る

金谷委員長あいさつ

皆さんおはようございます。活動と教え切れないほどの運動をしてきました。今日は一年間の総括です。活動の評価をして頂きたいと思っております。そして、協働いただきありがとうございます。ありがとうございました。

組合は現場で働く「仲間の命と暮らしを守る」と予算の検討です。

良い点はこれからも伸ばせるように、反省すべき点は反省をして次の活動に結び付けていきたいと思います。そう思っています。

今日一日、長時間の大会となりませんが、活発な会となり、若洲のバーベキュー、討論をよろしくお願ひ致します。



生は終ったと叫び、歴史には「おまけの人生」と甘え孫の子守りに浸るのが昔だったが、わが土建は組合員平均年齢が60を越え80代以上のシニア組合員も40人超で現役で働いている。組合には定年があっても人生には定年があるだろうか。老後という言葉は死語に近い。国際政治学者の重鎮畑田重夫先生の米寿を祝う会に参集した六〇〇人の教え子、各界の名士は氏の長寿と健康を祝し、講義、講演、執筆活動を絶やさない氏の努力と行動力に拍手を送った。

◆9月、氏の「平寿」祝う会が盛大に開かれる。一度限りの人生の節目に力作「畑田重夫の平寿の健康力」が出版された。みちる夫人の老々介護生活一〇年間の温い苦闘の様子を始め、虚弱児童の頃、軍隊生活と軍の手術失敗、国立大学の教職をやめて民主的活動に入った動機など一人間にとって大切なものは学歴でも肩書きでもない。丈夫な身体と健やかな心、これこそ最高の宝である。◆本書を推薦した野中広務氏(元官房長官)は「こんな温い心を持った方々に祝福される畑田先生がうらやましい」と(杉)

2013年各専門部の重点

組織部会 組織強化

増勢に向けた組織建設強化の課題と組織拡大運動として、分会・群組織の機能を強化し、分会活動を発展させます。

分会はその地域において組合を代表する組織です。地域活動を独自に行なう事で活性化させる事を重点に据えます。

住宅P1など社会貢献活動をさらに強化します。地元議員の要請行動を通して、制度を推進し

原則的な分会機関会議の運営に心がけ、分会執行委員会は分会四役、群長(代理含め)と分会の青年部・喜楽会・主婦の会の代表で構成し、「群会議の話題」「げんせつ

①群役員(群長・群会計)



来賓あいさつする山崎江東区長

青年部(二十歳代)対策は、①資格取得・技能向上で仕事の展望を持たせ

後継者(三十歳代・四十歳代)対策として、①独立・経営支援の相談や講習の実施、②結婚や子育てなど生活環境の変化に柔軟に対応(理解)できる組織づくりと結果で

後継者対策部

後継者対策部に課せられた目的は、若手・子育て世代の組合への結果への入口としての役割を果たすこと、またその後継者に「支部・分会役員

の発掘・育成」にあることは昨年の大会議案でも触れてきました。

各分会から選出される分会後継者対策部長を行

来賓紹介(敬称略・順不同)

- 山崎 孝明(江東区長)
- 平井 保(本部副委員長)
- 告坂 真二(本部副委員長)
- 矢野 孝(本部常任中央執行委員)
- 松丸 一雄(本部常任中央執行委員)
- 等原 鉄平(本部常任中央執行委員)
- 佐門 邦男(江戸川支部執行委員長)
- 石田 敏晴(江戸川支部副執行委員長)

「春一番拡大」二三%
「春の拡大」四三・五%
「夏期日常拡大」二二%
「秋の拡大」四四・五%
「年末拡大」二一%
「年間一四%到達」
「年間八・五%到達」
「四節(九〜十月)」
「五節(十一〜十二月)」

新執行委員

執行委員長	大島	佐伯 克利	大島
副委員長	山田 義友	小名木	加藤 任子
執行委員	鈴木 隆二	東砂	大久保 実
	菅原 新作	南砂	東砂
	黒田 伸和	深北	南砂
	宮内 守	深中	深中
	金子 栄日	深7	深中
	吉野 芳明	事業所	深3
	☆石井 昭雄	☆江崎 清	深7
	☆山本 美佐	☆松本 光	砂中
	☆喜安 正廣	☆桑原 秀朗	深7
	☆斎藤 幸雄	☆は新任	

厚生文化部 団体生命改定

二〇一三年四月より、青年組合員層の定着化と技能向上支援として資格取得祝金の対象を広く、作業主任者取得にも五千円の祝金を給付します。

また六月より団体生命共済の制度を改定し、拡大月間との相乗効果を発揮するため月間期間を準備期間、そのあと一か月の期間を集中期間とします。

秋については支部独自のキャンペーンも設定して取り組みます。

自動車共済は十月に改定が予定されており、加紙掲載も含めて多くの仲間

「大目的な目線」で見れば、大きな流れは着実に良い方向へ向かっているのではないだろうか。

後継者対策部の「本来の目的を見失つて」と、着実にその裾野を広げていけるような継続的な活動に、部員一丸となって今後取り組んでいく決意を新たにします。

組合員の定着化促進の見積運動を設定します。紹介していきます。

社会保障対策部

取り組みの重点として、①地元国会議員要請算集会の参加者数についての強化、②意見書採択の強化、③定例宣伝活動の強化、④地域集会の開催(六月四日・磐江公園)、以上の四点を中心に組織的な運動を具体化していきま

また、国保法改正に反対し、予算闘争と連動した医療保険一元化反対の運動を具体化していきま

二〇一四年度都費予算一体改革に基づく国保補助制度見直しを阻止し、現行水準確保に全力をあげる大衆運動は、取り組みを通じて組織の強化・確立につながるものとして位置付け、①要請行動は予定候補者を含め

賃金対策・PAL

特定保健指導対象者及び尿病防止」を中心に、支部・全分会での健康教室の開催を目指します。健康教室では「糖

二〇一三年度の特定健康診査目標は五十%です。今年も各分会より保険対策推進委員を選出し、国保組合からの補助制度を活用しながら、健診・健康教室の取り組みを含めた保険対策推進活動の取り組みを強化していきます。

受診呼びかけや事業所対策の強化をすすめ、支部集団健診や分会・事業所単位の健診の設定、

の記載が課せられます(二〇一四年一月一日から適用)。相談者に周知徹底と必要性を知らせる事に重点をおく学習会を開催していきます。

仕事対策部

第三回住宅デーは六月九日(日)に開催されています。今年度の住宅デーでは参加者と来場者増加させるための取り組みとして、「反民」とも作る住宅デーを強調し、分会での新たな活動案発掘の機会と安心安全な街づくりと仕事確保運動のきっかけづくりとするために、防災対策、住宅相談を押し出した取り組みを計画、参加者目標を組織人員二〇%以上と設定し、分会組織強化に結びつけます。

減災・防災、耐震対策は地震活動が活発になったこの国においては何より求められるもので、前

税金対策部

消費増税の中止に向けて、前年度を上回る宣伝行動に取り組みます。

江東消費税各界連絡会、江東税制民主化協議会などと連携し、学習活動の強化をします。

TPP(環太平洋連携協定)は関税を原則撤廃するもので、農林漁業と国民の食料に大打撃となります。TPP参加を断念させる世論と運動を大きくしていきます。

税務社会保障の情報を一元的に把握するため、国民一人一人に番号を割り当てる「共通番号制度マインナー法案」は国会で予算関連法案として

教育宣伝部

支部機関紙「土建しんぶん」は、その時々々の情勢の見方や特徴、支部執行委員会の見解・方針を地域の仲間へ伝え、共感が得られる紙面編集と記事の充実をめざします。

発行できる分会新聞を5割以上に引き上げます。教育委員の部会への出席率を高め、部会の中で発行ができるようにしていきます。

「標準見解書」の提出を求めるなど対策を要請し

江東区に法定福利費別枠支給が実施されるよう、元下請問での契約に別枠で明示されている「標準見解書」の提出を求めるなど対策を要請し

財政部会

二〇一三年度の組合費は値上げをせずに組合費収入の基礎人員を四千人で予算運営を行います。組合費を現状維持させるためには①増勢の実現、②滞納の大幅な削減が大前提となります。それがないと組合費を値上げせざるを得ない」と提案した組合費六三〇〇円の仲間へ浸透させること

二〇一三年度の組合費は値上げをせずに組合費収入の基礎人員を四千人で予算運営を行います。組合費を現状維持させるためには①増勢の実現、②滞納の大幅な削減が大前提となります。それがないと組合費を値上げせざるを得ない」と提案した組合費六三〇〇円の仲間へ浸透させること

五月よりの取り組みです。同時にレントゲン補助については継続課題として賛同者名を力に会派要請を強め、実現を目指します。

二〇一三年度の特定健康診査目標は五十%です。今年も各分会より保険対策推進委員を選出し、国保組合からの補助制度を活用しながら、健診・健康教室の取り組みを含めた保険対策推進活動の取り組みを強化していきます。

受診呼びかけや事業所対策の強化をすすめ、支部集団健診や分会・事業所単位の健診の設定、

の記載が課せられます(二〇一四年一月一日から適用)。相談者に周知徹底と必要性を知らせる事に重点をおく学習会を開催していきます。

申告相談の目標を組織人員の一〇%と設定します。相談日程を早めにつけ、宣伝も工夫を凝らす。組合員に広め、同時に相談体制のレベルアップも図っていきます。

近年、譲渡や相続など専門的相談が増えています。税理士の協力を得て専門的な相談に対応できる体制を確立します。

経営センターの業務を、事業所のニーズに合わせた宣伝・利用促進を進め、事業所の組織拡大につなげていきます。

例制定後の地域労働協約縮結に向け成果を勝ち取ることを目指します。仲間現場を交える運動への参加を訴えPALの組織化と強化に取り組みます。一組合員の働き先・調査を実施し、PAL対策者の把握と情報提供を行います。大衆行動を広く、生活できる標準賃金(一日二万六千円・年取六百万円)の正当性を内外に広げます。

事業主層に対し、事業所対策とも連携して法定福利費分と適正な利益の確保、一般管理費を計上した積算で理解が広げられる請求要求運動と、企業交渉や現場での懇談内容を伝え、専門工事業団体が作成した標準見解書の普及活動を行います。

方法などは部会で話し合い決定します。

ホームページに掲載する情報は、一つには個々の組合員及び加入事業所単位向けの情報提供と発信であり、もう一つには組合の外に向けての情報発信と宣伝ツールとしての役割を担います。

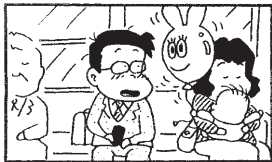
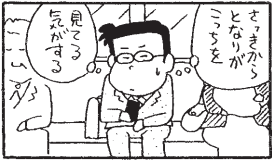
ページでの構成、掲載のペースでは、業務・制度もこの時期的の必要とされる拡大や住宅デーのお知らせ、支部独自の運動や業務、地域問題、仕事の上で必要な情報などを区別して掲載するようにしていきます。支部では、募り、支部全体でとりくみ、入賞を目指します。

面に出した運動を展開し、今年度の住宅デーでは参加者と来場者増加させるための取り組みとして、「反民」とも作る住宅デーを強調し、分会での新たな活動案発掘の機会と安心安全な街づくりと仕事確保運動のきっかけづくりとするために、防災対策、住宅相談を押し出した取り組みを計画、参加者目標を組織人員二〇%以上と設定し、分会組織強化に結びつけます。

減災・防災、耐震対策は地震活動が活発になったこの国においては何より求められるもので、前

二〇一三年度の組合費は値上げをせずに組合費収入の基礎人員を四千人で予算運営を行います。組合費を現状維持させるためには①増勢の実現、②滞納の大幅な削減が大前提となります。それがないと組合費を値上げせざるを得ない」と提案した組合費六三〇〇円の仲間へ浸透させること

お天気家族



大会表彰を受ける小名木分会

退任された 支部役員の方皆さん ごくろうさまでした

(敬称略)

- 新野 好雄 副執行委員長(深7)
- 篠塚 智司 常任執行委員(小名木)
- 本多 美佐子 執行委員(小名木)
- 入澤 勝一 執行委員(砂中)
- 山内 隆 執行委員(東砂)
- 藤田 須美男 執行委員(南砂)
- 中尾 正文 執行委員(深7)
- 比村 光代 執行委員(事業所)
- 加藤 一義 会計監査(砂中)
- 山本 繁樹 書記長(書記局)

表彰おめでとう!!

大会分会表彰

- ☆動員の部
 - 1位……深7
 - 2位……東砂
 - 3位……4砂
- ☆署名の部
 - 1位……4砂
 - 2位……小名木
 - 3位……南砂
- ☆八力半要請の部
 - 100%達成……小名

定着型拡大推進……事業所
月間以外の節目目標達成
春一番……深7、事業所
夏季……亀戸、深中、深7、事業所



アスベスト裁判完全勝利にむけ報告するアスベスト原告団



第45回主婦の会総会

齋「町人のまち誕生」第8回(12回連載)

深七分会 中尾 正文

早すぎた春は、少し気恥ずかさから後戻りして
います。
老中松平定信(1759-1829)は、風光明媚な海莊(はまやしろ)「牡丹三」を造って、深川を好み、白河藩主として靈巖寺に眠っている江東区に縁が深い殿様です。なお、深川に今や有名な人になった伊能忠敬との関わりを、井上ひさしの「四千万歩の男」で吉原那の脚での談義として扱っています。
で、何が町人文化かですが、文化文政時代は、元禄時代より時代が下がり、江戸時代も成熟期を超え爛熟期から衰退期への移行に変わる十九世紀前半の江戸物語華やかな時代だからです。
四世鶴屋南北、河竹黙阿弥(亀戸)、7代目團十郎、曲亭(滝沢)馬琴、間宮林蔵、葛飾北斎、歌川広重、渡辺崋山、雷電為、右衛門、など多くの文化・スポーツ人を、生み出しました。
八幡宮で有名な「勸進相撲」は、江戸相撲の発祥ですが、いくつかの寺院が始まり、十八世紀末、回向院に統合されました。

我ら江東のつながり

伊豆の長八の「海鼠壁」「鏡絵」は、特筆すべき職人技ですね。今も「左官」の技量の頂点で、その絵心には感心します。イタリヤ辺りのフラスコ画が有りますが、われら職人の技量も素晴らしい、多くが外壁です。新大橋に住む深川で修業したと伝えられています。
この地は、運河、堀が多く、水運が盛んで、江戸時代の高速物流のメッカでした。
もちろん、舟作りも盛んで、最近まで牡丹町にあった「佐野造船」で最新の和舟を、江東区の注文で二十年ぶりに新造しました。猪牙船(スピードの速いハイヤー)での、深川通いは男のロマンを掻き立てます。
でも、名棟梁の建てた名建築が震災・戦災のために残っていません。木場が歴史を作り多くの大工を育てた深川は、茶室などの和風造りを売りにする工務店が、今も数軒軒張っています。

主婦の会総会

第45回江東支部

【深7 森島洋子記】

出新書記長に「社会保障が、学んで行動するメリハリのある「かあちゃん制度改革推進法」をわかパワ」で、力強い主婦会館四階会いただき、皆熱心に学習議室にて「第四五回」しっかり学習した後、主婦の会館レクザンスの皆さんの協力を十分のリフレッシュ会を四七ユ体操、心身ともにやわらかくなり、和やかな雰囲気、十三年度の活動方針、予算提案を討議、来賓の大和副委員長、活発な質疑応答もあり探長、鈴木常決され、団結がはばたき、お二人に、塩られた新会長の小出さん

大会観戦記

【東砂 山田義友記】

前日夜からの春の台風。なみ大荒れになるとの天気予報も、当日早朝には快晴になりスカイツリーのピュも望める「墨田区すみだ産業会館8階9階」に於いて、2013年4月7日、江東支部第5八回定期大会が開催されました。支部役員、運営委員、書記たちによる会場の設営終了後の撤収作業をおこなった事も心をととの「この機会をまっとうした、仕事を下さい」と冒頭発言で会場全体が和気あいあいとした結果に違いない。午前は基調報告提案を